

臨床医学演習

責任者・コーディネーター	腫瘍生物学研究部門 前沢 千早 特任教授		
担当講座・学科(分野)	消化器内科肝臓分野、泌尿器科学講座、消化器内科消化管分野、循環器内科分野、血液腫瘍内科分野、糖尿病・代謝内科分野、衛生学公衆衛生学講座、呼・アレ・膠原病内科分野、心・腎・内分泌内科分野、小児科学講座、産婦人科学講座、神経内科・老年科分野、臨床検査医学講座		
担当教員	滝川 康裕 教授、阿部 貴弥 教授、中村 昌太郎 准教授、房崎 哲也 特任准教授、古和田 周吾 講師、高橋 義彦 講師、田鎖 愛理 講師、佐々木 信人 講師、瀬川 利恵 講師、内海 裕 助教、外館 玄一郎 助教、尾上 洋樹 助教、齋藤 あゆみ 助教（任期付）、高橋 進 非常勤講師		
対象学年	3	区分・時間数	演習 21.0 時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

医療の実践には、膨大な医学領域に関する基盤知識の修得ばかりでなく、個々の患者の病態生理を正確に把握し、適切な治療に結びつける問題解決能力を必要とする。本演習では、これまで学んだ基礎医学の知識に加え、3学年後期に学んだ臨床医学の基盤知識を統合活用し、鑑別診断、治療方針の決定に結び付く分析力・問題解決能力を演習形式で涵養する。

・教育成果（アウトカム）

各種疾病の鑑別診断・治療の実践に必要な病態生理・診察に係る基盤知識を統合し、問題を解決する能力を示すことができる。
(ディプロマ・ポリシー：2)

・到達目標（SBO）

個々の行動目標は授業担当者毎に授業の開始時に提示される。
以下、基礎病態・社会医学演習として行動目標の概要を示す。
1)演習問題の作問意図を指摘できる。
2)演習問題の関連知識を説明できる。
3)正解を導くに至った基礎知識と思考過程を説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/26	火	5	神経内科・老年科分野	齋藤 あゆみ 助教 (任期付)	神経病学で履修した内容の演習
10/3	火	5	血液腫瘍内科分野	古和田 周吾 講師	血液病学で履修した内容の演習
10/12	木	5	心・腎・内分泌内科分野	瀬川 利恵 講師	心血管疾患、腎臓疾患、内分泌疾患についての演習
10/17	火	5	呼・アレ・膠原病内科分野	内海 裕 助教	呼吸器病学で履修した内容の演習
10/25	水	5	糖尿病・代謝内科分野	高橋 義彦 講師	内分泌・代謝病学で履修した内容の演習
10/31	火	5	臨床検査医学講座	高橋 進 非常勤講師	臨床検査医学で履修した内容の演習
11/7	火	5	小児科学講座	外館 玄一郎 助教	小児科学で履修した内容の演習
11/15	水	5	衛生学公衆衛生学講座	田鎖 愛理 講師	予防医学で履修した内容の演習
11/21	火	5	消化器内科消化管分野	中村 昌太郎 准教授	消化器病学（消化管分野）で履修した内容の演習
11/27	月	5	循環器内科分野	房崎 哲也 特任准教授	循環器病学で履修した内容の演習
12/5	火	5	産婦人科学講座	尾上 洋樹 助教	産婦人科学で履修した内容の演習
12/12	火	5	泌尿器科学講座	阿部 貴弥 教授	腎臓病学で履修した内容の演習
12/19	火	5	呼・アレ・膠原病内科分野	佐々木 信人 講師	免疫病学で履修した内容の演習
12/26	火	5	消化器内科肝臓分野	滝川 康裕 教授	消化器病学（肝臓分野）で履修した内容の演習

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済の教科書・参考書等はありません				

・成績評価方法

試験により評価を行う。

・特記事項・その他

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			